2026年 県政報告

あなたは 2 6 3 万 4 9 6 5 番目の読者です

前号までにお届けした枚数です

埼玉県議会議員　県政報告

井上わたる

配るホームページ 第91号



私は今任期も、市民の皆さまの声を県に届ける「架け橋プロジェクト」に全力で取り組んでおります。市民の皆さまの中には「初めて聞いた」「架け橋プロジェクトってなに?」という方もいらっしゃると思います。今号では取組の詳細をAI画像も交えて分りやすくお伝えします。



完全無所属



諏訪原団地とバーミヤンを結ぶ横断歩道の歩行者用信号機のLED化

を例にして架け橋プロジェクトの流れをご紹介するとともに、「誰に相談すればいいか分からない」「相談したあとはどうなるの?」といった疑問にもお答え出来ればと思います。

私たちが快適に日々の暮らしを送る上で関わりの深い「道路」「交通安全」「河川」「上水道・下水道」など、身の回りにある多くの分野で県政は深く関わっています。しかし、同じ道路でも県道か市道かによって担当が県庁である場合と和光市役所になる場合があります。また県庁の業務は非常に細分化されているため、「どこに声を届ければよいのか分からず困っている」という方が非常に多いと思います。



架け橋プロジェクトとは?



和光市民の皆様からいただいた県政に関わるご要望を、地元選出の県議である井上が、県の担当部署へ直接届けます。（市が管轄の場合は市役所に繋ぐ、もしくは市議の方と連携して実現を目指します。）それが「架け橋プロジェクト」です。

約束する「進捗の透明性」

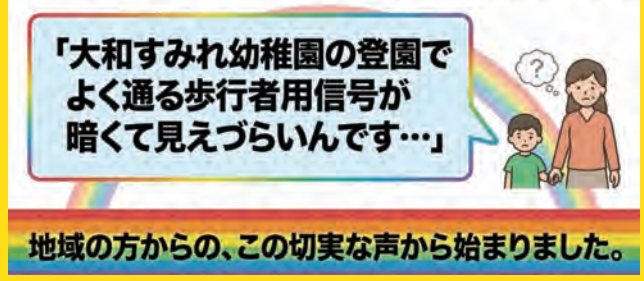
「必ずすぐに改善する」とは言いきれません。
（県全体の優先順位があるため）

代わりに、以下の「進捗報告」を必ず行うことをお約束します：

- ✔ いつ、どの部署へ伝えたか
- ✔ どのような回答が得られたか

ここで一つ、私の約束をお伝えします。いつ、どの部署に伝え、どのような回答を得たのか、その経過を必ず皆様にご報告いたします。

実現事例：諏訪原団地とバーミヤンを結ぶ横断歩道



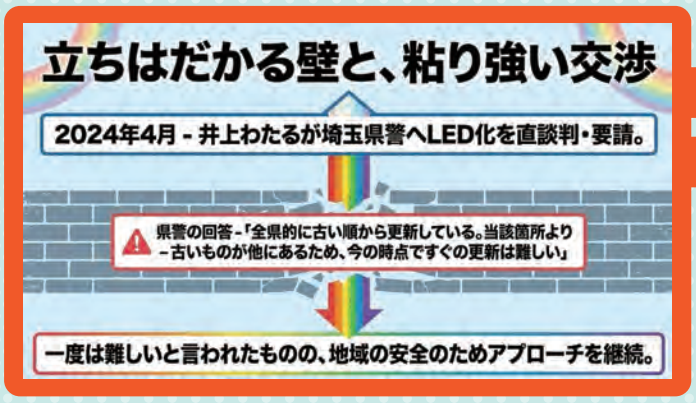
こちらのQRコードから上記の内容のスライドムービーがご覧いただけます。

ウラ面につづく

オモテ面からつづく



こちらが改善前の様子です。従来の電球式信号機では、日差しが強いと点灯しているのかどうか判別しづらく、歩行者にとって非常に危険な状態が続いていました。



2024年4月、埼玉県警へLED化を直談判しました。しかし、返ってきた答えは、「全県的に古いものから順次更新しているため、今すぐは難しい」というものでしたが、私は何度も交渉を重ね、アプローチを継続しました。



その結果、ついに信号機のLED化が実現しました。どんな天候や時間帯であっても、信号がはっきりと見えるようになり、地域の安全が、また一歩大きく前進しました。





小さな変化かもしれませんが、こうした積み重ねこそが、皆様の毎日の大きな安心につながると確信しています。この横断歩道は、幼稚園児や保護者の方々、中学生、そして多くの地域の皆様にとって大切な架け橋です。

追加報告　今回ご紹介した信号については、その後も動きがありました。



- 「押しボタンを押してから青信号に変わるまでの時間を早くしてほしい」、という声が届きました。
- その声をもとに県警との調整をスタート。県警は現地調査を行いました。
- 調査の結果、朝の最も横断歩道の利用者が多い時間帯において、ボタンを押してからの最大の待ち時間が64秒という状況でした。
- 県警の基準では「信号サイクルの変更が必要な状況とまではいえない」という判断となり、残念ながら「現状維持」となりました。
- しかし、この調査を通して「笹目通りに向かう越後山通りの渋滞が長い」という別の課題を県警が把握することになりました。

↳ その結果、イエローハットや朝霞地区看護専門学校のある交差点の東西方向の青信号時間を3秒延ばすことになりました。



このように1つの「声」が新たな安全対策を生むこともあります。また今回ご紹介した箇所の他にも多くの実現事例があります。改めて皆さまにお伝えします。そして、お困り・お気づきのことがあれば、是非皆さまの「声」をお聞かせください!

連絡用フォーム

#徹夜議会の真実をお話しします

9月定例会最終日は翌朝にまで及ぶ異例の展開となりました。地方創生・行財政改革委員会の審査中、田村琢実議員（自民）から私に対する不当な侮辱発言があり、地方自治法に基づく「処分要求」を求めたところ賛成多数で成立し、発言者が陳謝する事態となりました。（その他の詳細な経緯はブログ「シリーズ『令和８年 ９月定例会 徹夜議会』」をご覧ください。）今回の事案を踏まえ、再発防止策として各委員会等のインターネット中継の導入に全力で取り組みます。今後も「県民会議」の名に恥じぬよう県民本位の政治を貫いてまいります。

井上わたるの和光ブログ
「令和8年9月定例会 徹夜議会」

井上わたるプロフィール

自己紹介

昭和54年10月1日生まれ。
父親の転勤により東京、名古屋、広島、兵庫などで生活。平成7年阪神大震災に被災。当時の政府や自治体の対応に問題を感じ、「人の暮らし・命を守る政治家になる」と決意。妻と長女、長男の4人暮らし。子育てしながら議員活動を行う。

経歴

- 平成14年：立命館大学法学部環境生活法コース卒業
- 平成14年 ～ 19年：福祉・医療系人材派遣会社にて介護・看護職の就業支援に携わる。
- 平成19年 ～ 23年：和光市議会議員を務める。この年の選挙で「本人」の旗を掲げて駅頭や自転車で活動。以来、和光市における「元祖・本人」の異名をとる。
- 平成23年 ～：県議会議員として無所属議員の同志と共に活動スタート。
- 平成27年 ～：県議会議員2期目。会派「無所属県民会議」を結成。政務調査会長を務める。
- 平成31年 ～：県議会議員3期目。令和元年度には県政史上初の「無所属議員の議運 副委員長」を務める。
- 令和5年 ～：現在4期目。会派「無所属県民会議」の代表を務める。





発行元 連絡先
埼玉県議会議員 井上わたる事務所
(埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)
〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail : inoue_airline@yahoo.co.jp